

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社松屋アールアンドディ 上場取引所 東
コード番号 7317 URL https://matsuyard.co.jp
代表者(役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 後藤秀隆
問合せ先責任者(役職名) 常務取締役CFO 経営管理部長 (氏名) 松川浩一 (TEL) 0779-66-2096(代表)
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,404	31.2	984	124.5	1,003	98.8	735	107.2
2023年3月期第3四半期	4,881	24.8	438	114.8	504	121.1	355	397.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,275百万円(45.5%) 2023年3月期第3四半期 876百万円(212.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	34.78	34.34
2023年3月期第3四半期	16.82	16.71

(注) 当社は2023年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,025	5,039	50.3
2023年3月期	8,743	3,775	43.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 5,039百万円 2023年3月期 3,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期(予想)				1.25	1.25

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 当社は2023年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。2024年3月期の配当予想については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2024年3月期(予想)の1株当たりの期末配当金は5円00銭となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	11.7	1,100	79.8	1,100	62.9	830	95.0	39.17

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 当社は2023年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。2024年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2024年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は156円68銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	21,189,600株	2023年3月期	21,127,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	712株	2023年3月期	712株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	21,156,556株	2023年3月期3Q	21,106,712株

(注) 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。「期末発行済株式数」「期末自己株式数」および「期中平均株式数」は前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に引き下げられて以降、堅調な個人消費やインバウンド需要等に支えられ経済活動の正常化の動きが進みました。一方、日銀による金融政策の正常化の動きに加え、ウクライナやパレスチナのガザ地区における地政学リスクの懸念及びアメリカや中国をはじめとする世界的な景気後退懸念等により、景気の先行きに対して不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおいては、9月に稼働を開始したMatsuya R&D(Vietnam)Co.,Ltd.の新工場が順調に生産を続けております。メディカルヘルスケア事業の血圧計腕帯については円安の影響のほか、省人化・業務効率化の推進により増収増益となりました。セイフティシステム事業については、カーシートにおいて新規顧客の出荷が本格化したこと、エアバッグにおいても既存顧客の数量増加や新規顧客の量産が本格化したことから増収増益となりました。また、縫製自動機では、継続してインド向け大型エアバッグ製造ラインに注力しました。

そのほか、リハビリロボット関連では理学療法学会等での企業出展ブースにおいて、リハビリ用ロボット「Luna EMG」の製品紹介やデモンストレーションを実施したほか、関西圏の数件の病院において当該ロボットのトライアル貸出しを行うとともに、患者さまにも試用いただくなど積極的な販促活動を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,404,832千円（前年同期比31.2%増）、営業利益984,690千円（前年同期比124.5%増）、経常利益1,003,614千円（前年同期比98.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は735,910千円（前年同期比107.2%増）となり、第3四半期連結累計期間の各利益は上場以来過去最高となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における各セグメントの概況は、次のとおりであります。

(メディカルヘルスケア事業)

メディカルヘルスケア事業につきましては、円安の影響及び省人化・業務効率化の推進により、売上高・利益共増加しました。

以上の結果、売上高は4,168,688千円（前年同期比22.0%増）、セグメント利益は996,646千円（前年同期比32.5%増）となりました。

(セイフティシステム事業)

セイフティシステム事業につきましては、縫製自動機においてエアバッグメーカーのインド工場向けの設備をはじめベトナム工場向け設備でも売上が増加しました。カーシート及びエアバッグでは、新規取引先の増加などいずれも生産量が増加したことにより売上高・利益ともに増加しました。

以上の結果、売上高は2,199,796千円（前年同期比51.9%増）、セグメント利益は191,844千円（前年同期はセグメント損失124,151千円）となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、売上高は36,347千円（前年同期比116.0%増）、セグメント利益は15,481千円（前年同期はセグメント損失1,380千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて747,397千円増加し、6,990,044千円となりました。これは主として、現金及び預金が342,733千円減少したことに対して、受取手形、売掛金及び契約資産が458,492千円、商品及び製品が177,074千円、原材料及び貯蔵品が469,835千円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて534,359千円増加し、3,035,250千円となりました。これは連結子会社 Matsuya R&D (Vietnam) Co., Ltd. の新工場が完成し旧工場から移転したことにより、建設仮勘定が1,599,820千円、使用権資産が125,169千円それぞれ減少し、建物及び構築物が1,316,334千円、無形固定資産が965,001千円それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,281,756千円増加し、10,025,295千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,384,275千円減少し、3,036,017千円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が287,385千円、1年内返済予定の長期借入金が103,258千円、未払金が56,104千円それぞれ増加したことなどに対して、短期借入金が1,620,000千円、未払法人税等が73,277千円、その他流動負債が114,445千円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,401,272千円増加し、1,949,371千円となりました。これは短期借入金から切り替えた長期借入金1,473,840千円の増加が主要因であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて16,997千円増加し、4,985,388千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,039,906千円と、前連結会計年度末に比べて1,264,759千円増加となりました。これは利益剰余金の配当により26,408千円減少したものの、譲渡制限付株式報酬による新株発行及び新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ7,909千円、為替換算調整勘定が539,437千円増加したこと、並びに親会社株主に帰属する四半期純利益を735,910千円計上したことによるものであります。また、減資により資本金298,772千円をその他資本剰余金に振替えております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.2%から50.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを勘案した結果、2024年1月19日付で公表しました業績予想からの変更はありません。

なお、当第3四半期連結会計期間末現在、業績は概ね予定通りに進捗しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,343,950	2,001,216
受取手形、売掛金及び契約資産	1,345,899	1,804,392
電子記録債権	5,491	—
商品及び製品	737,941	915,016
仕掛品	303,742	322,051
原材料及び貯蔵品	1,283,130	1,752,965
その他	222,491	194,402
流動資産合計	6,242,647	6,990,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	165,181	1,481,515
機械装置及び運搬具（純額）	73,087	116,280
土地	117,920	119,418
使用権資産（純額）	176,023	50,854
建設仮勘定	1,609,029	9,209
その他（純額）	257,639	224,116
有形固定資産合計	2,398,882	2,001,395
無形固定資産	4,645	969,646
投資その他の資産		
繰延税金資産	16,434	1,023
その他	80,928	63,184
投資その他の資産合計	97,362	64,207
固定資産合計	2,500,891	3,035,250
資産合計	8,743,538	10,025,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	438,313	725,699
電子記録債務	147,879	144,172
短期借入金	2,570,000	950,000
1年内返済予定の長期借入金	20,412	123,670
未払金	789,812	845,917
未払法人税等	148,967	75,690
賞与引当金	29,975	10,382
その他	274,931	160,486
流動負債合計	4,420,292	3,036,017
固定負債		
長期借入金	28,160	1,502,000
退職給付に係る負債	125,547	130,664
繰延税金負債	7,399	62,974
その他	386,991	253,732
固定負債合計	548,098	1,949,371
負債合計	4,968,391	4,985,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	308,772	17,909
資本剰余金	201,124	507,806
利益剰余金	3,068,172	3,777,675
自己株式	△479	△479
株主資本合計	3,577,590	4,302,912
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	197,556	736,994
その他の包括利益累計額合計	197,556	736,994
純資産合計	3,775,147	5,039,906
負債純資産合計	8,743,538	10,025,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,881,862	6,404,832
売上原価	3,819,650	4,655,493
売上総利益	1,062,212	1,749,338
販売費及び一般管理費	623,661	764,647
営業利益	438,551	984,690
営業外収益		
受取利息	6,844	3,161
受取配当金	0	0
為替差益	83,908	57,862
その他	10,417	5,976
営業外収益合計	101,170	67,001
営業外費用		
支払利息	33,191	22,762
工場移転関連費用	—	23,436
その他	1,787	1,878
営業外費用合計	34,978	48,077
経常利益	504,743	1,003,614
特別損失		
固定資産除却損	3,861	—
特別損失合計	3,861	—
税金等調整前四半期純利益	500,881	1,003,614
法人税、住民税及び事業税	154,761	196,092
法人税等調整額	△8,986	71,610
法人税等合計	145,774	267,703
四半期純利益	355,106	735,910
親会社株主に帰属する四半期純利益	355,106	735,910

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	355,106	735,910
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	521,592	539,437
その他の包括利益合計	521,592	539,437
四半期包括利益	876,699	1,275,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	876,699	1,275,348

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

2023年6月29日開催の定時株主総会の決議に基づき、2023年7月14日付で減資の効力が発生したこと、新株予約権の行使及び譲渡制限付株式報酬による新株の発行が行われたことにより、当第3四半期連結累計期間において、資本金が290,863千円減少、資本剰余金が306,682千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が17,909千円、資本剰余金が507,806千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディカル ヘルスケア	セイフティ システム	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,416,902	1,448,134	16,826	4,881,862	—	4,881,862
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,416,902	1,448,134	16,826	4,881,862	—	4,881,862
セグメント利益又は損失(△)	752,075	△124,151	△1,380	626,543	△187,992	438,551

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△187,992千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディカル ヘルスケア	セイフティ システム	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,168,688	2,199,796	36,347	6,404,832	—	6,404,832
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,168,688	2,199,796	36,347	6,404,832	—	6,404,832
セグメント利益	996,646	191,844	15,481	1,203,972	△219,281	984,690

(注)1. セグメント利益の調整額△219,281千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。